

補助金チェックシート(既存)

作成年度: 令和4年度

1. 補助金の内容

補助金名称	NPO活動応援基金補助事業補助金			補助金番号	B1-3	
所管部署	市長公室 市民活動課					
根拠名称 (交付規則以外)	枚方市NPO活動応援基金補助事業補助金交付要綱					
交付の目的	市民・法人等からの寄附金を活用し、市民活動の主体の一つである、市内のNPO法人へ補助金を交付することにより自主的な市民活動の推進を図る。					
補助対象経費	対象事業に要する設備費、人件費、報償費、旅費、消耗品費、使用料及び賃借料、備品購入費等					
補助率・補助額	その他					
交付先	団体(不特定)					
開始年度	平成21年度	終期年度	年度	サンセット期日	令和7年度末	
補助金性質分類	制度的補助	団体運営補助		事業費補助	○	その他
法令等での義務付け	なし	法令等名称				

2. 補助金の予算・決算等

(千円)

	H31(R1)	R2	R3	R4
予算額	3,709	2,028	2,403	1,940
決算額	2,912	1,586	1,129	
特定財源	国庫支出金	0	0	0
	府支出金	0	0	0
	その他	2,912	1,586	1,129
一般財源	0	0	0	

(件)

交付実績	8	7	8	
------	---	---	---	--

3. 補助金の見直し

① 補助金交付の基本的な視点(いずれかが不適合の場合は「廃止」もしくは「改善」)

視点	チェックポイント	チェック	理由・詳細等 (不適合の場合は対応案・改善策を記入)
公益性	補助金交付対象事業の目的や内容が、広く市民の利益に貢献するもので、特定のものの利益に供するものではない。	✓	NPO法人が行う特定非営利活動は、特定の市民の利益に貢献するものではなく、広く市民の利益に貢献する事業である。
必要性	関連する施策目標や事務事業目的の達成に必要不可欠な補助金交付である。	✓	市民による活発なまちづくり活動の支援策として、当該補助金交付は必要不可欠である。
	現在の社会経済情勢においてニーズが高い又は高いニーズが見込まれる。(ニーズを把握している)	✓	当該補助金の原資であるNPO活動への活用を希望する寄附金が約130万円集まることやNPO法人からの補助金交付申請が約8団体あったことにより、ニーズが高いことを把握している。
有効性	期待する効果をあげている。又は効果をあげる見込みがある。(具体的な効果測定方法が確保されている)	✓	実績報告時に参加者数等を把握し、効果測定を行っている。
	補助金交付が委託や直接執行等と比較し、より適正で効果的な手法である。	✓	自主的な市民活動を推進し、市民による活発なまちづくり活動の支援を行うことが当該補助金の目的であるため、行政が主導する委託や直接執行等では目的が達成できない。

公平性	要件を満たす不特定多数が交付申請可能な制度となっている。又は特定のもののみに交付を行う合理的な理由がある。	✓	市内に主たる事務所を置くNPO法人を補助金の交付対象団体としており、約100法人存在している。
妥当性	全額補助となっていない。又は全額補助を行う合理的な理由がある。	✓	補助金額や補助対象経費等について、審査会を設けて妥当性を確認している。
	補助率、補助金額、補助対象経費等が明確である。(補助金交付要綱の整備など。)	✓	事務規範として要綱(要項、要領等)を規定している。
	補助率、補助金額、補助対象経費が公表されているなど透明性が確保できる。(ホームページでの補助制度の公表など)	✓	市ホームページにて補助制度を記載した募集要項等を毎年度2月頃に公表するとともに、実績報告書及び収支報告書を公表することで、透明性を確保している。

②補助金性質分類別の視点

[事業費補助]

該当	チェックポイント	チェック	理由・詳細等 (不適合の場合は対応案・改善策を記入)
○	市が公益上必要と認める特定の事業や活動に限定した補助金交付となっている。	✓	審査会において、公益性の観点を踏まえて、補助金を交付するに値する事業であるか審査を行っている。
	交付団体の財政状況等を勘案し補助金交付が必要であると客観的に認められる。	✓	審査会において、当該法人の財政状況等を踏まえて、補助対象団体とすべきか審査を行っている。

4. 補助金の今後の方向性

方向性	現状のまま継続
上記方向性を 選択した理由	本補助金は、市民・法人等からの寄附金を財源とし、公益的な事業を行うNPO法人の活動を支援するものであり、NPOによる市民活動の活性化を図る上で、必要な財政支援策である。
対応完了・廃止予定時期	